

平成27年度 学校経営全体構造

日本国憲法
教育基本法（義務教育の目標）
学校教育法 学習指導要領

児童・保護者・地域の願い
児童・地域の実態

＜教育理念＞
自ら意欲的に学び続ける態度と心身ともにたくましく、思いやりのある心を育て、
次代を担う人間性豊かな児童の育成を図る学校教育を創造する。

十勝管内教育の重点
○確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成
○家庭や地域の協力を得た十勝らしい教育の充実

帯広市教育基本計画
～ふるさとの風土に学び
人がきらめき 人がつながる
おびひろの教育～

学校教育目標と校訓

進んで学び かいっぱいやりぬく子

- よく考え自ら学ぶ子ども
- 思いやりがあり心豊かな子ども
- 健康でたくましい子ども
- 責任を重んじ進んで協力する子ども



○やる気と自信にあふれている子
○生きる知恵が身に付いている子

○やさしい子
○相手の立場を大切にできる子

○運動に親しみ、元気に遊ぶ子
○健康で安全な生活が送れる子

○夢をもち困難にぶつかっても努力する子
○責任ある行動がとれる子

めざす教師像

- 子どもとともにある教師
 - ・子どもとともに学び、遊び、感動し、行動する教師
- 保護者とともに子どもを語る教師
 - ・保護者の願いを聞き届け保護者と心の交流を図る教師
- 研修に励み、豊かな人間性をもつ教師
 - ・専門的な力量を高め、社会的視野を広げる教師
- 礼儀正しく、美しい環境を創り出す教師
 - ・公教育に携わる者としてTPOをわかまえる教師
- 子どもが見える教師
 - ・子ども一人一人を受容し、理解し、共感できる教師

めざす学校像

「子どもの成長に寄り添い
信頼と気づきを深める学校」
～チームカワニシ 笑顔一番
わくわく・いきいき 感動体験～

研究主題（2/2）

進んで学び、みんなで課題を
追求する授業づくり
～学び合いのある討論で、
個や集団を高める～

めざす家庭の姿

- 会話がはずむ明るい家庭
 - ・家族の会話でコミュニケーションを学び、人間関係を築く
基礎と「学び」を支える力を育てる
- しつけのできる確かな家庭
 - ・早寝、早起き、朝ご飯、あいさつなどの基本的な生活習慣と
「川西っ子ひびきあい運動」の実践
- 向上をめざし、ともに学ぶ家庭
 - ・学校、家庭、地域が連携・協力し合い、お互いに尊敬、
理解しながらよりよい人間関係を構築する

経営の4つの柱と具体的な取組

確かな学力の定着

- ①基礎基本の確実な定着と自ら学び考える力を育てる指導の充実
 - 各種テストの分析結果もふまえた学力向上改善プログラムの作成●基礎基本の定着に向けた全校的な取組の継続 ●家庭学習の習慣化の取組の継続 ●問題解決的学習や体験的な学習の重視 ●T Tや少人数指導などの指導方法や学習形態の工夫改善と検証 ●ICTを活用した授業力向上やチャレンジテストや学習プリントなどを活用した学習指導の充実
- ②新学習指導要領の趣旨に基づき、地域の特性を生かした教育課程の編成・実施・評価・改善
 - 領域毎の全体計画の見直し ●年間指導計画の継続的な改善 ●地域の環境や人材・施設の積極的な活用 ●学校支援地域本部事業との連携
- ③教師の指導力向上を図る校内研修の充実
 - 研究課題に基づく日常実践と公開研究会（10月）の実施 ●外部講師活用による開かれた研修の推進 ●目標管理手法による教職員の力量形成

豊かな心の育成

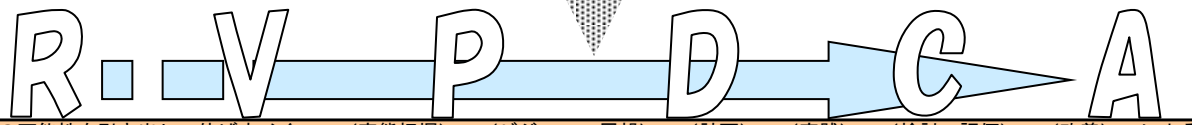
- ①豊かな情操を育む教育機会の充実
 - 各種図書館の活用とボランティアの連携で朝読書等の読書活動の充実 ●全校合唱や写生展、版画展、花壇活動等の情操教育の充実 ●心のふれあい子どもが感動する体験の場の創造
- ②思いやりの心の育成
 - 私たちの道徳・副読本の活用とともに、心に響く道徳の授業実践を要とした道徳教育の充実 ●道徳の授業に関する研修の充実 ●基本的な生活習慣や規範意識を培う「川西っ子ひびきあい運動」の推進
- ③内にも外にも開かれた学年学級経営
 - 交流会等情報共有による不登校・いじめ・問題行動を未然に防ぐ指導
- ④教育相談・特別支援教育・生徒指導の充実
 - 自己決定の場、自己存在感、共感的な人間関係を生かした指導と組織的な対応・子どもの実態把握による指導支援 ●特別支援教育への理解促進

健やかな体の育成

- ①たくましい体の育成
 - 子どもの実態把握と改善の手だて策定 ●体育の授業改善（体作りの運動の充実） ●遊びを生かした体力づくりや運動の日常化 ●環境の整備、体験活動や遊びを保護者や地域と連携・協力・交流により実施
- ②望ましい食・生活習慣の定着
 - 子どもの実態把握に基づく健康教育の推進 ●望ましい生活習慣の日常的な指導と家庭への情報提供 ●食の知識や食習慣の理解を深めるための取組を地域の人材や関係諸機関・施設などと連携し推進
- ③他者の生命を守る判断力と実践的な態度の育成
 - 避難訓練や交通安全教室の実施 ●防災教育の意図的計画的な取組 ●日常的な目配りや点検による危険防止と安全管理の徹底 ●SB運営委員会や子どもを守るネットワークとの連携強化 ●安全ネットの加入促進

信頼され開かれた学校づくり

- ①説明責任を果たす積極的な学校公開や情報発信
 - 学校説明会、公開研究会、定期授業参観、祖父母参観の実施 ●学校要覧、各種通信等の発行 ●HP更新
- ②学校評価の更なる充実
 - 児童・保護者アンケートを生かした自己評価及び学校関係者評価の実施と公表 ●学校評価の内容改善
- ③信頼される教職員
 - スクールコンプライアンスの徹底による服務規律保持と迅速な危機対応 ●報告・連絡・相談の徹底
- ④施設設備の活用と児童にはたらきかける環境づくり
 - 教材室や資料室の効果的活用と整備 ●子どもの興味、関心、意欲を引き出す新鮮でさわやかな教育環境 ●教育環境としての教師の意識化



子どもの可能性を引き出し、伸ばすべく、R（実態把握）V（ビジョン・展望）P（計画）D（実践）C（検討・評価）A（改善）による学校経営を組織的に推進し、子どもが変容する姿を通して、保護者・地域の信頼と負託に応える学校をつくる。